

# 伊勢崎線第303号踏切道（群馬県館林市）～バイパス整備・交通規制～

○踏切道の北側にバイパスを整備し、交通転換を達成

○さらに車両通行規制を実施し、自動車交通が無くなることで、生活道路の安全性が向上



鉄道事業者名	東武鉄道
鉄道路線名	東武伊勢崎線
道路管理者名	館林市
道路名	市道1206号線

## ○当該踏切が抱える課題

- ・ピーク時遮断時間35分(地域課題)

## ○現場特有の背景

- ・踏切道の前後を含め周辺住民の生活道路として利用
- ・館林駅に近接し、3本の鉄道路線が通り、ピーク時遮断時間が35分と長く、渋滞が発生

## ○対策概要(対策完了H31年度)

- ・踏切道の北側にバイパス(西部一号線)を整備
- ・H31年4月1日より車両規制を実施

## ○対策効果

- ・バイパスにより交通が転換  
(自動車交通量2,821台/日(H26)⇒車両規制の実施により自動車交通量0(渋滞解消))

## 現況



線路北側



線路南側

踏切道の閉鎖  
平成31年4月1日

## 対策後(立体交差バイパス)

